

市議会だより おおだ



2022(令和4)年1月20日発行

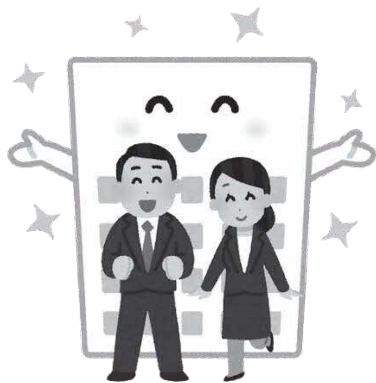
～火山からの贈り物vol.11～
三瓶山

12月定例会	2
10、11月臨時会	4
一般質問に10人	6
特別委員会中間報告	11
大田市議会「おでかトーク」開催報告	14

12月定例会市議会は、令和3年12月3日(金)～20日(月)までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



(一般会計総額) 266億4,115万円)



**大田市企業立地奨励金
3,316万円**

大田市企業立地奨励条例に基づき認定した企業へ助成金を交付し、産業振興及び雇用の促進を図る



現在の馬路まちづくりセンター

**まちづくりセンター改修事業
671万円**

令和5年度施工予定の馬路まちづくりセンター新築工事に係る基本設計を行う

選挙

【当選】

▼大田市選挙管理委員会委員及び同補充員

○委員 ○補充員

石賀 了(大田町) 上野明義(仁摩町)

石橋富士子(仁摩町) 龍 文子(大森町)

臼井 泉(温泉津町) 杉本博文(温泉津町)

岸田節子(富山町) 田平志津子(長久町)

新設条例

【賛成多数、原案可決】

▼大田市社会教育推進センター設置条例

大田市社会教育推進センターを設置し、持続可能なまちづくりの形成に資する社会教育推進体制を整備するため、新たに条例を制定するもの

皆さんからの請願・陳情

【不採択】

▼新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める意見書提出方針(CSN)

(請願者) 島根県農民運動連合会

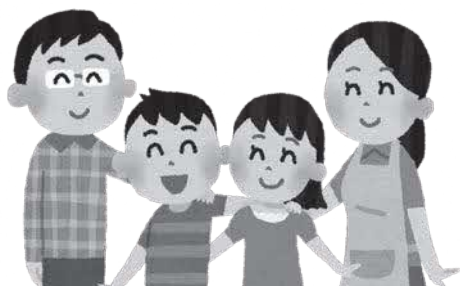
会長 田食 道弘

12月定例市議会

一般会計
補正予算
(第7～9号合計)

補正額 8億2,193万円

主な補正内容



子育て世帯への臨時特別給付金
給付事業 4億7,797万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、高校生までの子どもがいる世帯に対する臨時の特別給付金



福田長戸路線(温泉津町)の被害

現年土木災害復旧事業
9,600万円

令和3年8月の台風及び大雨により被災した公共土木施設の復旧工事

その他の補正	補正額
防災安全交付金事業 (市道大森大田線の落石対策)	2,050万円
障がい者自立支援給付事業 (扶助費の増額)	1,966万円
サンレディー大田建物調査 (現在の建物の状況等の調査)	612万円
農産物生産振興販売促進事業 (重点推進品目の生産拡大を図る 取り組みに対する支援)	313万円
総合計画策定事業 (「第2次大田市総合計画(後期)」の 策定に向けてアンケート調査を実施)	67万円

指定管理議案一覧表

施設の名称	指定管理者となる団体の名称
いきいき工房祖式	祖式地区社会福祉協議会
指定する期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日までの3年間	
サンレディー大田	公益財団法人 大田市体育・公園・文化事業団
指定する期間：令和4年4月1日～令和6年3月31日までの2年間	
やきものの里	特定非営利活動法人 石見ものづくり工房
指定する期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日までの5年間	
温泉津会館	温泉津会館協議会
指定する期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日までの1年間	

10月臨時市議会

10月20～25日
開催

令和3年度一般会計補正予算(第6号)
1億2,066万円

可決
全合一致



新型コロナウイルスワクチン
接種事業 5,139万円

新型コロナウイルスワクチンを2回接種した方のうち、原則8か月以上経過した方を対象に追加接種1回を順次行う



おおだを満喫!
Welcomeキャンペーン事業
3,500万円

大田市内で使用できるプレミアム付きチケットを販売することで、宿泊や飲食、観光施設等での消費を促し、新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けている市内観光事業者の収益確保につなげる

その他の補正

	補正額
農業復旧対策事業 (令和3年7月に発生した豪雨災害により被災した認定農業者に対し、早期復興及び安定的な営農活動を支援)	401万円
感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 (小中学校における新型コロナウイルス感染症対策等を支援するため、保健衛生用品等を整備)	230万円
PCR検査支援事業 (PCR検査費用に係る1企業あたりの補助上限額の引き上げ等)	120万円

指定管理議案 一覧表

施設の名称	指定管理者となる団体の名称	指定する期間
三瓶観光リフト	株式会社 飯南トータルサポート	令和3年10月26日～令和7年3月31日まで
道の駅「ごいせ仁摩」	株式会社 サクセス山陰	令和3年12月10日～令和8年3月31日まで

11月臨時市議会

11月24日 開催

人事案件

【3件とも同意】

▼教育委員会委員の任命につき同意を求めらるる
現委員である梶伸光氏の任期が令和3年11月28日満了のため、同氏を再任することについて同意を求めたもので、任期は4年です。

▼公平委員会委員の選任につき同意を求めらるる
現委員である河原美紀子氏の任期が令和3年11月29日満了のため、一柿美代子氏を新たに任命することについて同意を求めたもので、任期は4年です。

▼監査委員の選任につき同意を求めらるる
現委員である富田正治氏の任期が令和3年11月29日満了のため、同氏を再任することについて同意を求めたものです。任期は4年です。

▼監査委員の選任につき同意を求めらるる
現委員である富田正治氏の任期が令和3年11月29日満了のため、同氏を再任することについて同意を求めたものです。任期は4年です。

◇10月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	等	月森和弘	亀谷優子	根宜和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	小林洋太	河村賢治	林茂樹	大西修	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	松村信之
■市長提出議案																							
議案第438号 令和3年度大田市一般会計補正予算（第6号）	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第439号 三瓶観光リフトの指定管理者の指定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第440号 道の駅「こいせ仁摩」の指定管理者の指定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第441号 仁摩地区道の駅建築工事（建築主体）請負変更契約の締結について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第442号 仁摩地区道の駅建築工事（電気設備）請負変更契約の締結について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◇11月臨時会提出議案等賛否一覧表

■市長提出議案																							
議案第443号 大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第444号 大田市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第445号 大田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第446号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第447号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第448号 監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																							
議案第449号 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◇12月定例会提出議案等賛否一覧表

■市長提出議案																							
議案第450号 令和3年度大田市一般会計補正予算（第7号）	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第451号 令和3年度大田市一般会計補正予算（第8号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第452号 令和3年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第453号 令和3年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第454号 令和3年度大田市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第455号 令和3年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第456号 令和3年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算（第1号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第457号 令和3年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第458号 令和3年度大田市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第459号 令和3年度大田市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第460号 令和3年度大田市病院事業会計補正予算（第3号）	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第461号 大田市社会教育推進センター設置条例制定について	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第462号 大田市過疎地域自立促進特別事業基金条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第463号 大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第464号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第465号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第466号 大田市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第467号 大田市過疎地域持続的発展計画の策定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第468号 いきいき工房株式の指定管理者の指定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第469号 サンレディー大田の指定管理者の指定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第470号 やきものの里の指定管理者の指定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第471号 温泉津会館の指定管理者の指定について	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第472号 令和3年度大田市一般会計補正予算（第9号）	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■議員提出議案																							
意第13号 出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について	継続審査																						

※定数20名（現員18名）、うち議長（松村信之）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々） ※「欠」は欠席

いっぱん質問



道の駅「ごいせ仁摩」
1月29日オープン

市政に対する一般質問は、12月8日、9日に行われ、10人の議員が執行部の考えをいただきました。
質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。

答弁
ちづくりセンターは、お互いに連携しながら各種事業に取り組み、人づくりやつながりづくりに効果を発揮してきました。その一方で、人口減少や少子高齢化に伴い、地域づくりの担い手不足が深刻化し、買物、金融、医療、介護など、日常生活に必要な機能、サービスの確保が困難になる地域が今後

質問
少子高齢化社会、変化する社会生活の中で地域住民が主体となり、住み続けられる地域をつくるために生活機能や生活交通の確保、地域資源を生かした産業振興、定住対策など、地域課題の解消に向け、今後どのようなまちづくりを進める考えなのか所見を伺う。

当市における「まちづくり」とは

地域住民が主体の
持続可能なまちづくりを

こまだひろたか
胡摩田弘孝 議員



出てくると考えられることから、より小さな地域単位でのきめ細やかな対応が重要と考えている。

今後は、小さな拠点づくり、人づくり、つながりづくりの3つを一体的に取り組むことがより効果的な力を発揮するとの考えから、新たに設置する社会教育推進センターを中心に、まちづくりセンター単位で社会教育事業に取り組み、まちづくりに生かしていきたい。

また、持続可能なまちづくりを進めるため、地域運営組織の設立に向けて、行政と一緒に地域連携成を図り、地域住民が主体となつて組織を立ち上げ、地域課題解決のための計画づくりや取り組みを進めていく。



▶地域ぐるみで道路の草刈作業

誰もが恩恵を受けられる デジタル社会の実現を

市民のマイナンバーカード取得に向けて、多様な取り組みを通じ、普及を図っていく。

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



質問

デジタル化社会の実現に向け、マイナンバーカードの健康保険証としての利用や運転免許証との一体化が計画されている。また、経済対策では、新マイナンバーカードが実施される。高齢化が進む本市においては、情報格差解消が重要と考えるが、具体的に次の3点について伺う。

- ①マイナンバーカードの交付状況と今後の取り組み
- ②新マイナンバーカード制度
- ③高齢者向けスマホ教室

答弁

①マイナンバーカード交付状況は、本年11月28日現在で1万2475枚、36.9%の交付率となっており、来年2月には、75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者で、

カードをお持ちでない方に対し、マイナンバーカード交付申請書の発送も予定している。

②新マイナンバーカード制度では、12月6日の臨時国会において補正予算として提案されている中に、マイナンバーカード取得で最大2万円のポイントを付与する事業がある。

③高齢者向けのスマホ教室は、今年度市内11か所のまちづくりセンターにおいて開催され、12月1日現在で、延べ50回、438名の参加者があった。今後、地域ボランティアや市内ケーブルテレビ会社との協力を得て、スマホ教室への参加を働きかけていく。



石田議員その他の質問項目

・がん対策について

外国人労働者の雇用に関する取り組みは

地域で暮らしやすい環境を整える

みたに たけし
三谷 健 議員



質問

企業の人材不足が慢性化しており、政府は、対策として外国人労働者の受け入れを推進している。市内企業でも、技能実習生の入職が増えつつあるが、現時点での①就労人数とその職種、②差別や偏見などの防止策や対応策として行政で行っている啓発活動、③生活、仕事に関わる支援、サポート体制、④地域住民との交流への取り組みを伺う。

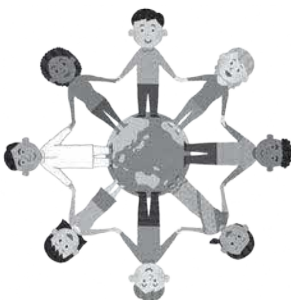
答弁

①約400人の外国籍の方が住んでいる。在留資格別の職種は把握していない。
②企業などの代表に参加してもらい、就業時の差別をなくす目的とした、公正採用選考推進セミナーを開催している。また、雇用者に対して島根県外

国人材雇用情報提供窓口を、外国人労働者向けとして、しまね国際センターが開設している多言語対応の窓口を紹介し、偏見や差別をしないように啓発活動をしている。

③国際交流員を配置するとともに、市役所内の窓口において、携帯翻訳機を設置している。また、外国人住民を支援する団体と定期的に意見交換会を行い、実態把握に努めている。

④総合計画で、多文化共生社会の実現を主な取り組みとして位置づけ、推進計画を策定した。多文化理解を深める講座を開催するなど、地域住民との交流、多文化の理解につながる取り組みを進めている。



市駅前東側 土地区画整理事業 進捗状況は

魅力的な市街地空間の
構築を目指す

おおにし おさむ
大西 修 議員



ものである。

JR大田市駅については事業区域に含まれないため、事業区域の隣接者としての事業の説明と、別事業による駅前広場整備と整備後の維持管理方針について協議を行っている。石見交通(株)については、市民に対して公共交通

質問 本事業の目的は、道路や駅前広場を整備して商業施設の立地と居住環境の創出である。市民からは「総額40億円の巨費を投じて、今やらねばならない事業なのか」「駅にエレベーター設置を」の声を聞いている。また、旧パル跡地利用にも関心を寄せている。この事業を進めるには、JR大田市駅、石見交通の協力が不可欠であるが、進捗状況を伺う。

答弁

本事業は、居住環境の改善はもとより、栄町高禅寺線、大正西線の都市計画道路を中心とした都市計画基盤整備を行うものであり、既に事業が完了した西側地区を含めたJR大田市駅周辺の活性化に向け、魅力的な市街地空間の構築を目指す

機関の利便性を損なわないよう、他の権利者との調整も含め現在交渉を進めているところである。



▲JR大田市駅

大西議員その他の質問項目

- ・食糧生産と農山漁村を担う農林漁業者への支援について
- ・生活困窮者に対する灯油購入費の助成について

「デジタル化社会」 地方自治体への影響と 個人情報の保護は

適切に対応する

しみず まさる
清水 勝 議員



この状態のままでは、団体ごとの規定運用がデータ流通の支障になり得ることから、本年、デジタル社会を形成するための関係法律の整備に関する法律、いわゆるデジタル社会形成整備法が公布され、個人情報保護法を改正して全国的な共通ルールとすることとされていると承知している。この法律の施行までに、各地方公共団体は法律の範囲内で条例の改正等を行うことになる。具体的にはまだ決定していないが、今後国から示されるガイドライン等を注視しながら、適切に対応したいと考える。

質問

9月からデジタル庁が発足し、国民の利便性の向上が図られるが、民間企業からの職員起用等から情報漏れによるプライバシーの侵害や目的外利用等が案じられる。そこで、地方自治体に理念、目標、具体策の計画書の作成を義務付け、12月中に「ロナワクチン接種歴の電子化、来年度中には個人の預貯金口座とマイナンバーカードのひもづけが始まるが、大田市個人情報保護条例の見直しや、労力と費用負担が生じないのか伺う。

答弁

現在、地方公共団体における個人情報保護の取り扱いについては、個人情報保護条例で定めている。また、その他団体それぞれ、個人情報保護法で定められている。



長引くコロナ禍 適切な支援を

関係機関とより連携し
対応したい

かめたに ゆうこ 議員
亀谷 優子



用としての総合支援資金がある。

償還が難しい場合には、生活保護につなげるケースもあるが、生活保護に至る前の生活困窮者への包括的、継続的支援については、自立相談、家計改善、就労支援などの生活困窮者自立相談支援事業として、大田市社会福祉協議会へ委託し、生活困窮者のための相談窓口、生活サポートセンターにおおだが設置されており、貸付けを開始した後も状況の変化に応じ相談を継続している。大田市社会福祉協議会をはじめ、関係行政機関と連携しながら相談体制の強化に取り組んでいく。

なお、緊急小口資金、総合支援資金などの償還が始まる2023年1月以降、生活保護の申請に至る方の増加も想定されるので、貸付けや生活困窮者自立相談支援事業から適切に生活保護など、セーフティーネットの利用につなげるため、社会福祉協議会と一層の連携を深めていく。

亀谷議員その他の質問項目

・ 学校施設の整備について

質問 新型コロナの影響で、収入が減少するなどの場合に利用できる生活福祉資金の特例貸し付けは、令和2年3月から令和3年11月の時点で、緊急小口資金が216件、総合支援資金が90件にのぼっている。長引くコロナ禍での暮らしを支えるためにも、返済が始まる2023年1月を念頭に、申請者に寄り添った相談支援が必要と考えるが、所見を伺う。

回答 新型コロナウィルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少したため、一時的な生計維持のための緊急小口資金と、収入の減少や失業などにより生活に困窮し、日常生活の維持が困難となった世帯の生活の建て直しまでに必要な生活費

「SDGs」 大田市としての取り組みは

SDGsの理念に通じる
取り組みを推進する

もりやま こうた 議員
森山 幸太



標を共有することを掲げている。

また、世界遺産である石見銀山遺跡、石見神楽や火山由来による日本遺産、国立公園三瓶山など、本市の豊かな地域資源を守り、次世代に引き継ぐ取り組みなど進めており、昨年、令和元年7月に開催した「1000人共創ミーティング」や、9月に開催した「図書館を活用したイベント」、官民連携である「大田デザイン会議」を開催するなど、これらは、持続可能な社会を目指す取り組みと考えている。

質問 SDGsとは、持続可能な開発目標という意味であり、「誰も置き去りにしない」という理念のもと、貧困問題をはじめ、気候変動や生物の多様性など、持続可能な社会をつくるため、全世界で取り組むべき課題を17の目標に分け、169のターゲットで構成したものである。大田市のSDGsの推進、取り組みについて伺う。

回答 本市では「第2次大田市総合計画」や「第2期大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において持続可能なまちづくりに取り組んでいる。

そして、この度策定した「過疎地域持続的発展計画」では、持続的発展の基本方針の中で、SDGsの理念と目



▲17あるSDGsのゴールの色を使ったバッジ

森山幸太議員その他の質問項目

・ 不妊治療のサポート体制について

「ふるさと納税」における返礼品の開発状況は

返礼品の開発を行い、
寄付額の向上に向け取り組む

和田 浩司 議員



果、1万円、2万円、5万円以上の返礼品のみであったため、寄付者のニーズに合っていないことを指摘された。

今年5月にふるさと納税に係る業務を委託業者に委託し、地域を回り、三瓶そばやアナゴなど地域資源を生かした返礼品を45品以上用意し、寄付額10万円の高額な返礼品も用意した。

また、ポータルサイト上で市長のお礼メッセージを出したり、観光チラシを送付している。また、レビュー投稿の依頼、メールマガジンの定期配信など、リピーターになるファンづくりに努めている。

今年度の目標額は、2億5000万円であるが、来年度は2億7000万円を目指している。大田市の地域資源だけでは限界があり、県内市町村と連携を図り共通返礼品の造成に向け取り組む。

和田議員その他の質問項目

・「企業版ふるさと納税」への取り組み状況について

質問

公共工事の施工時期の平準化により、建設業者の経営健全化、労働者の処遇改善、工事の品質確保、災害対応力向上、及び発注時の入札の不落対策などが期待されるが、平準化についての所見と取り組みについて伺う。

また、公共工事などで発生する残土処理を直接規制する法律がないため、不適切な処理や処分などがされているケースがあるが、残土処理の基準や現状について伺う。

答弁

平準化は、工事の閑散期と繁忙期の差を縮小し、従事者の処遇改善や事業者の経営健全化など、工事の品質確保にも繋がるものと認識している。

取り組みとしては、年度内に終了し

公共工事の施工時期の平準化と残土処理の基準と現状は

処遇改善や経営健全化にも繋がる
残土は要領・優先順位で処理

根宜 和之 議員



ない工事の早期の繰越手続きや、前年度設計・積算実施による工事の早期発注、また、発注見通しの年2回の公表などを実施している。

今後、令和6年度からの時間外労働の上限規制に併せ、適正で柔軟な工期設定のため、年度をまたぐ発注・工事などの債務負担行為や、余裕期間制度の活用を確認のうえ検討していく。

残土処理は、「島根県建設副産物処理要領」に準じ優先順位に従い、工事現場内利用処理を最優先にし、次に国県市町村と調整し他の公共工事間利用や市有地などへ仮置きし、有効活用を図っている。

。そして調整できないものは、関係法令等で許可された民間受入れ地に搬出、処理している。



▲公共工事のようす

質問

今年度より、「ふるさと納税」として寄付をいただいた方々への返礼品の開発に関して、マーケティング・コンサルタントの主導のもと実施されているが、着手から約半年が経過した現段階での開発状況や、今年度及び来年度に向けて目標としている寄付総額についてお尋ねする。

答弁

当市の寄付額は2016年までは順調で2億円を超えた。

寄付者の大部分を占める都市部の方には、インターネットショッピングの要素が強く、本来の納税の趣旨の自治体や生産者を応援される方と、お得感のみを求める方との分化される。

「コンサルタント」による要件整理の結

公民館を廃し、「社会教育推進センター」設置でどう変わる

社会教育の基本方針をもとに
持続可能なまちづくり体制を目指す

しおたに ひろし 議員
塩谷 裕志



があること。また、人口減少や少子高齢化などによる担い手不足が深刻化、ブロック制の公民館による社会教育事業では、地域の人がつくりやつながりづくりが行き届かなくなっていることが理由である。

質問

人口減少社会を背景に、将来を見据えた持続可能な体制づくりのため、令和4年度より現公民館を廃し、庁内に「社会教育推進センター」を設置。2年間は移行期と捉え、現公民館の所在地に2名を配置し、まちセンの社会教育事業などをサポート、令和6年度より人員を縮小していく計画である。そこで、次の5点について伺う。

- ①見直しを図る理由と必要性
- ②まちセンへの事業移管での課題
- ③社会教育のあるべき将来像
- ④公民館事業の整理
- ⑤まちセン体制の今後の見直し

答弁

①地域住民にとって、公民館とまちづくりセンター2つの施設の違いが分かりにくく、この2つの課題

②まちづくりセンター職員は、社会教育のノウハウが十分でないため令和4年から令和5年にかけて様々な研修など実施し、意識と技術力の向上を図る。

③社会教育活動を通じて、地域住民同士の絆や連帯感などを意図的に構築すること。地域が抱える課題解決へ主体的に行動する機運醸成が重要である。

④まちづくりセンター事業について、昨年度より公民館などと事業のすり合わせを実施。一部、統合やすり合わせを行った。今後も社会教育推進センター職員とともに課題解決や、地域活性化につながる事業を構築し、実施したい。

⑤現状把握を行いながら、今後まちづくりセンターが担う役割に応じた適切な職員配置について適宜検討する。

行財政改革 特別委員長 中間報告



いわた よし洋 委員長
石田 洋治

11月19日に開催。

サンレディー大田の今後のあり方に関する検討状況について

機能廃止の方針の変更はないのか。

答 産業振興施設としての機能の廃止の方針は変わらないが、調査によって、修繕箇所、建物の耐用年数等の結果を受けたのちに、今後のあり方を決定したい。

問 調査の結果、利用可能であれば、複合的に機能を維持して存続させるのか。

答 現時点で決まったものではないが、建物の調査をしたうえで、利用可能であれば、講座等は残していく。また、他の施設で実施できるものであれば、他の施設で行うとの選択肢もある。

問 意見交換では、利用者団体から

どのような意見が出たのか。
答 働く女性の家は、他市にはなく優位性がある。大田市として残していくべきではないか。必要であれば、利用料の負担増はかまわない。施設は利用し続けたいとの意見があった。



市税収納率の向上に向けた県内調査（概要報告）について

問 雲南市について、収納率が県内一高いが、特徴的な対策はどうか。

答 雲南市が大田市と比べて特徴的なことをやっているとの調査結果は得られなかった。元々収納率の高い町村が合併し、良い体質を維持している。また、合併当初から市税だけでなく、国保料、保育料の徴収も一

元的に取り扱う債権管理課で行っている。差し押さえも積極的に進めており、その効果が出ている。

問 大田市では、固定資産税の収納率が悪い。その対策として分割納付があると考えますが、件数はどうか。

答 分納については、要請があれば応じている。割合は、他市に比べると多い。

問 債権管理マニュアル、債権管理条例、フレックスタイムについては、県内で2市が取り組まれている。収納率向上に向けた具体策の中に滞納整理マニュアルとあるが、具体的には。

答 督促から催告の流れ、また、どういった状況になれば差し押さえをするかをフローチャート式にマニュアルを作りたいたいと思っている。

報酬及び謝金単価の見直しについて

問 令和2年の委員会開催時間は、1時間未満が88回(45%)、1時間〜2時間以下が99回(50%)と合わせて95%になっている。現在は、6200円の日額単価が支払われているが、是非半日単価を設け、新年度から実施して頂きたい。

答 令和4年度から2時間以下のものは、半日単価と考えている。条例については、令和4年3月議会に上程予定である。

議会改革 特別委員長 中間報告



11月9日、11月12日、11月24日に開催。

大田高校出前授業

11月12日、委員9名が4クラスに分かれて、50分間の授業に参加した。高校生からは、SDGsに関する項目の中からそれぞれテーマを設定し、模擬請願が行われた。提案の主な項目は、「住み続けられるまちづくり」をテーマに、空き家の利用方法、整備の方法、資金の問題など、多くの提案があった。

人口の問題では、雇用問題、外国人労働者の受け入れについて、また、交通網の整備、循環バスの充実について、駅前パルの有効活用と高校生が車を待つ時間の居場所についてなどの提案があった。

担当する委員は、できるだけ生徒さんの提案に向き合いたいということ



▲グループごとに発表。多くの提案がありました。



▲クラスに分かれてコメントする特別委員会の委員

とで、事前調査を念入りに行い、大きな期待を持って臨んだ。予定の時間はあつという間に過ぎ、時間の足りないクラスもあった。

出前授業を終えて

委員の評価は、高校1年生として地域の課題をよく考えていた、我々が高校1年の時こんな課題を考えたかと思うとよく調べたと感じる、など、おおむね評価が良かった。

このことを踏まえ、先般、委員長、副委員長で大田高校に出かけ、今回の出前授業について意見交換を行った。双方とも実施については大いに評価するが、もう少しお互いのねらい、目的が合致する方法を見出す必要があると感じたところである。

今回は、議会や議員活動を高校生の皆さんにも知ってもらいたいという観点から、特別委員会で取り組んだところであり、次年度以降は、大田市議会の取り組みとして行えるよう、その手法等について協議を続けたい。



▲生徒の皆さんは委員のコメントに真剣に耳を傾けていました。



写真で見る議会日誌



11/5

新可燃ごみ共同処理施設視察(民生委員会)



工事が進む新可燃ごみ共同処理施設(川本町)を民生委員会が現地視察しました。
11月末現在の工事進捗率は83%です。

11/15 ~16

・全国市議会議長会産業経済委員会
・全国過疎地域連盟
定期総会及び理事会(議長)



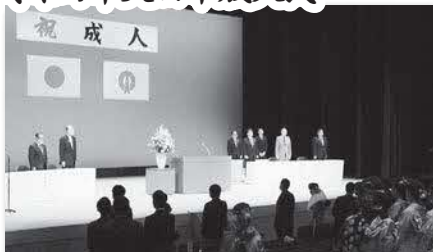
11/20

山村留学センター「収穫祭」
(議長、総務教育委員長)



11/21
1/4

令和3年大田市成人式 (議長ほか)
令和4年大田市成人式



新型コロナウイルス感染症の影響で延期されていた令和3年の成人式が11月に行われました。

12/9

大田商工会議所女性会13名
市議会傍聴



団体での傍聴の申し込みも受け付けております!!

12/20

道の駅「ごいせ仁摩」内覧会
(全議員)



1月29日のオープンを前に内覧会が行われました。

12/24

第71回全国植樹祭
記念品展示セレモニー(議長)



天皇皇后両陛下がお手植え・お手播きで御使用された植樹用具がメモリアル展示されます。

大田市議会



おでかけトーク開催しました

今年度の議会報告会は、会場ごとにテーマを設け、グループに分かれて自由に意見交換する「おでかけトーク」として11月7日(日)に開催いたしました。当日は多数のご参加をいただき(久手会場11名、川合会場19名、温泉津会場18名)、活発な意見交換をすることができました。今年度は初めてということで不慣れな点もあったと思いますが、参加者の皆様のご協力のおかげで各会場とも和やかな雰囲気でごくばらんにお話しいただき、皆さんと情報を共有することができたと感じております。



★久手会場★

テーマ:災害に強いまちづくり

【主な意見】

- ・波根町は自主防災組織が2地区にある。夜間に避難訓練しているが、高齢化、人口減少で若い人の参加が少なく、継続が難しい。
- ・安心、安全のために避難情報と減災情報を出してほしい。
- ・行政として自主防災組織の人材育成、資金提供をわかりやすくしてほしい。
- ・これまでの教訓を生かし、自主防災組織を立ち上げる。食糧の確保などが重要。
- ・公助では、情報発信など、防災と減災対策に取り組むべき。
- ・共助では、消防団、自主防災組織、自治会でのつながりが大切。
- ・過去の災害を調査し、ハザードマップに反映してほしい。



★川合会場★

テーマ:定住対策

【主な意見】

- ・市の発信ツールが少ない。田舎の良さ、大田市の良さを発信してほしい。
- ・自治会への加入に抵抗がある。
- ・働く場所が少ない。企業誘致、農業支援、就労支援を。
- ・家庭で親が子供に地域のことをどのように伝えるかも重要。
- ・高齢化している現状で、生活交通インフラの充実、地域全体で子育てできる環境づくりが必要。
- ・Uターンに関しては、受け入れ体制の整備、悩みを聞ける場所づくりが必要。放棄された農地をUターンの方に貸し出してはどうか。
- ・問題点を顕在化し、地域の魅力の活かし方を指導してもらうため、コンサルタントの利活用を考慮してはどうか。



★温泉津会場★

テーマ:地域について思いを語ろう

【主な意見】

- ・自主防災組織の結成や、子供たちの体験学習会の受け入れなどはどうか。
- ・農業・農村が崩壊してきている。農業は補助金で成り立っているが、環境保全や地域維持につながっていない。
- ・少子高齢化が進み、地域の活性化が図れない。
- ・地域を守るためには、全員で協力して地域を守ろうという意識と行動を示すことが大切である。
- ・空き家を利用して定住対策を図ることも重要。
- ・情報発信や交流の場をもっと進めて頂きたい。
- ・子どもにふるさと教育の推進を。
- ・公共施設の管理、維持、活用が求められる。



当日ご記入いただきましたアンケートでは、参加者の皆さんからも「よかった」「また開催してほしい」などの感想を多くいただき、大変うれしく思っております。また、「今回出た意見を市議会に活かしてほしい」など、今後の市議会に対する期待があることも痛感いたしました。

市議会では、定例会や臨時会、委員会などで今回の3つのテーマに関わるものに限らず様々な議案の審議を行っております。各会場でのご意見や、皆さんの思いを今後の議会活動に活かせるよう、取り組んでまいります。

今後とりあげてほしいテーマなど、ご意見がございましたら市役所議会事務局(TEL 0854-83-8137)までお寄せください。

2022

明けましておめでとうございます



今月の表紙

表紙写真は大田市観光フォトコンテスト
〔極上の一撮部門(最優秀賞)〕
橋本 友さんの「悠久の峰」です。



議会を傍聴 してみませんか



次の定例会の予定は3月です。
市議会を身近に感じる良い機会です。
◇傍聴席は定員34人です。
◇新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用、アルコール消毒にご協力いただきますよう、よろしく
お願いいたします。

お問い合わせ先…大田市議会事務局
(TEL:0854-1831813)

総務大臣感謝状受賞



市議会議員として通算三十五年以上にわたり在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったとして、清水勝議員が総務大臣から感謝状を贈呈されました。

編集後記

新春お慶び申し上げます。昨年も、コロナで始まりコロナで終わった年、コロナ禍で私たちの暮らしや生活様式も様変わりしています。

地球は四十六億年前に誕生し、ウイルスが生まれたのは三十億年前、人類にはまだ二十万年の歴史しかないようです。ウイルスに負けなかつた先祖に感謝し、早期の感染症の終息を願います。

さて、当市も人口減少、少子高齢化等による課題が山積しており、目先のことだけでなく将来を見据えた行政運営に迫られています。引き続き議会の最新情報や、事業内容等をお伝えします。

尚、委員会メンバー一同、市民の皆様に分かりやすく、読みやすく親しまれる広報紙づくりに向け取り組んでまいりますので、今年もよろしくお願い致します。

結びに、令和四年が市民の皆様方にとって充実した一年になりますことをお祈り申し上げます。

(胡摩田 弘孝)

広報広聴委員会

- 委員長 月森 和弘
- 副委員長 小川 裕志
- 委員 塩谷 洋治
- 委員 大西 賢治
- 委員 河村 洋治
- 委員 石田 弘孝
- 委員 胡摩田 弘孝
- 委員 三谷 優子
- 委員 亀谷 優子

坂根印刷 納